

イッセー尾形のここだけの話～ イッセー尾形となかまたち

著：イッセー尾形・森田オフィスの全員
発行：キッズコーポレーション
定価：1,900円（税別）



本書は、デジタルデータでの書籍編集およびCD-ROMによるデジタルコンテンツの供給を目的としたシリーズ「アルドボックス」の第1弾である。

といっても、内容がデジタルなわけではなく、ラジオで放送された脚本をノベライズした全9話の小説や、ラジオドラマを再構築した再現ラジオドラマ全6話が収められている。また、イッセー尾形の理解者である山藤章二夫妻や所属事務所の代表であり演出家でもある森田雄三氏との座談会やスタッフたちのエッセイも収録されており、イッセー尾形の世界観が堪能できる本になっている。また、CD-ROMでは自身の半生をイラストとナレーションで振り返るなど、デジタルならではのよさも味わえる。

桐ユーザーのための Access97入門

著：笠原由紀子
発行：エーアイ出版
定価：3,200円



日本語データベースとして評価の高い「桐」だが、Windows95対応版も間もなく発表される予定だ。しかし、待ち切れずにAccessに乗り換えた人も多だろう。本書はそのようなユーザー向けのAccess入門書で、例えば桐ユーザーが初めてAccess97を使う際にとまどう点を中心に解説しているのが特徴だ。

本書では、両ソフトの操作方法の違いを解説し、桐で行える操作をAccess97で実践していく構成になっている。使い慣れたソフトから、機能の類似する勝手の違うソフトに移行するのは意外と難しいものだが、このように操作を対比させていけば覚えやすいだろう。巻末には桐・Access97関数対応表が付録として添付されている。

辞・典・盤 97

発行：アスキー
定価：9,520円（税別）



CD-ROMによる電子出版が活躍するのは、何といっても辞典の分野で、本書もその1冊である。Windows95/NT4.0とMacintoshに対応しており、「岩波国語辞典」「新英和中辞典」「新和英中辞典」「朝日現代用語 知恵蔵1997」「マイベディア97」の5タイトルからインデックスを厳選し、1枚のCD-ROMにまとめている。

このCD-ROMはEPWINGに準拠しているため、対応している検索ソフトで使用できるが、ワープロなどの併用が便利な「WordEngine2」が付属している。これは、1つの言葉を複数の辞書から同時に引ける「串刺し検索」も可能だ。もちろん、EPWINGに準拠している他の辞典CD-ROMも使うことができ非常に便利。様々な分野の語句が網羅されており、全ての人にお勧めだ。

Web Buildingパワーガイド

著：エスプリ
発行：ソフトバンク
定価：3,400円（税別）



Netscape Communicator 4.0やInternet Explorer 4.0の登場により、ブラウザはますます表現力豊かなWebページを表示することが可能になった。しかし、最新の拡張タグを使ったからといって誰でも美しいWebページが作成できるというものではない。

本書は、ブラウザのバージョンに依存せず、「いかに見やすく、美しく、楽しいWebページを作るか?」をテーマとして解説している。本書では、すでに簡単なHTMLを書ける読者を対象にしているため、初心者向けの説明はされていない。また、付属のCD-ROMにはすぐに使えるスクリプトファイルや、画像データなどが収録されている。自分のWebページを見栄えよくしたい人にお勧めである。

秋葉原バックギャモン

著：黒川善成
発行：日刊工業新聞社
定価：1,400円（税別）



パソコン好きにとってのメッカともいえる秋葉原（アキバ）。しかしアキバでパソコン店が隆盛を極めるようになったのは、そう遠い昔の話ではない。

本書は、アキバのショップの店員だった著者が観察したアキバの変化の記録である。パソコンという言葉さえなかった1974年から、Windows95が発売される1995年までの様子が、著者の視点で描かれている。この頃に、著者と同じようにアキバで青春を過ごし、パソコンの黎明期から業界の動向に注目していた人々には懐かしく、共感できるものだろう。ただし、自伝的な意味合いも強いので、アキバの歴史やショップの栄枯盛衰にあまり興味のない人には多少退屈かもしれない。

SOHO 次世代ワークスタイルの考え方と実践

著：Robert E.Garrity
訳：石川裕子
発行：オライリー・ジャパン
発売：オーム社
定価：1,400円（税別）



SOHOという言葉も、最早目新しくはなくなってきたが、会社という組織にとらわれず、自宅などで行う新しい仕事の形態を模索している人も多いことだろう。

本書は、そのような在宅勤務に興味を持つ人のための読み物である。米国でのSOHOの実態を紹介するとともに、日本で実践するための心構えや問題点、戦略を分析してみせている。どのような仕事と考えられるのか、果たして自分はそのような勤務形態に向いているのかなどを知りたい人には大いに役立つだろう。ただし、本書は何かを行うためのものではなく、概略が紹介されているのみである。何を準備すればいいのか、どのくらいの資本が必要かなど、具体的なものを求めている人には物足りない。